



名勝舊跡

菱野薬師、不動の滝、高峰神社、躑躅ヶ丘矢留城、矢呉山、問答石、窟観音、其他浅間登山の最近道にして頂上迄十杆、近々バス道路も完成する、牛に引かれて善光寺詣りで有名な布引観世音へは六杆である。

氣候風土

土地南向傾斜地にして、北に山を負う為め積雪少なく、気温も割合に暖く極寒の候と雖も零下五六度を下る事なく、又盛夏の候と雖も二十六七度を越ゆる事のない住み良いところである。

位置及交通

菱野温泉は国立公園浅間支峰高峰山の中腹にあつて、信越線小諸駅の北方五杆、海拔一千余米、高峰スキー場の通路に位し、上地高燥四隣清幽にして展望の卓越なる事、他温泉地の追従出来ないところである。

旅館は薬師堂の直前にあつて眺望最も宜しく、東に浅間の噴煙を眺め、西は薬師ヶ池に臨み、北に薬師山を負い、南西は遠く開けて佐久、小県の平野が茫漠として海の如く、丘陵遠く走つて波濤の如く藍を流す、河川は其間に陰見して恰も活画の様である。

信越線小諸駅に下車し、駅前より菱野温泉行直通バスがあつて、僅二十五分着する、又徒歩にて自然の風光を視ながら登るも一時間余で到着する。尚且浅間国立公園を回遊する千米観光バスも近く開始する事となる。此バスが出来れば軽井沢との連絡は四十五分出来る。

又浅間登山バスも此地を徑て行く事となる。



菱野温泉の濫觴

菱野薬師温泉は建久二年の昔稲室龍洞と云う武士の発見したもので、龍洞は或る戦争に傷を負い世を去つて諸国遊歴の際、此地の名刹観音の窟に籠つた事があつた。此夜薬師が夢中に現れ「龍洞に告げるに此南四丁に効験多き靈湯あり、汝此湯に浴せば其傷立ちどころに癒ゆべし」と龍洞之れを探ぐるに果して荊棘草莽の内に靈湯の湧出するあり、龍洞大に喜び、之に入る事数日にして其傷全癒せりと、茲に於て龍洞は薬師を此地に遷座し靈湯を開いた是れ即ち薬師温泉の開祖にして秋彼岸の中日であつた、爾来此日を以つて薬師の縁日と定めた。

菱野小唄

(野口雨情作)

春は楼よ夏は避暑湯あみ心地の
 ヤツサイ程のよき
 青葉かくれの菱野の薬師夏は涼しい
 ヤツサイ風が吹く
 秋の彼岸は菱野の里の薬師如來の
 ヤツサイ御縁日
 つみ切れずに長峰山の秋の紅葉は
 ヤツサイ色に出る

泉質主治効能及

入浴法の特徴

当泉は亜留加里性泉にして燐酸塩、炭酸塩、鉄、礬土、加里、那篤倫、其他有効瓦斯を有し、主なる効能は冷え症及冷えより発する諸病、痔疾、脚氣、胃腸病、外傷神経痛等に特效があり、又病後の静養には特に適して居る。殊に入浴方法は他湯と変つて居つて冷、温、高温の三種があつて、始め温湯に入りて体温を中和し、次に高温湯に入りて皮膚の気孔を膨張せしめ、而して冷湯に入りて其膨張したる気孔より本湯特有の有効成分を体内に飽和せしむると云う。独特の入浴法であつて渡辺博士の言わる温浴に加ふるに冷浴を以つてするとか、彼の有名な西医博の唱導する冷温両湯の入浴法に合して居ることは不思議である。

宿泊費用

- 一、賄付一泊二食付五百円より
- 一、伺式一泊三百円より
- 一、委託式一泊二百円より
- 一、自炊式百六十円より

